

パン・中華麺用の小麦品種「夏黄金」の収穫適期

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

1 部門名

普通畑作物—小麦—作型・栽培型

2 担当者名

大寺真史

3 要旨

栽培特性と製パン適性に優れる寒冷地向けの硬質小麦品種「夏黄金」は、今後県内でも導入される可能性がある。一方で、穂の外観が赤褐色のため、収穫適期を視覚的に捉えることが難しい。そこで、11月上旬に播種した「夏黄金」の穂の含水率を経時的に調査したところ、出穂からの積算気温が900℃程度で機械収穫の適期を迎えることが示された。

- (1) 機械収穫開始の目安となる子実水分は約30%であり、子実水分と穂含水率はほぼ一致する。
- (2) 穂含水率の減少速度は35%前後から速まった(図1)。
- (3) 機械収穫が可能な穂は、全体が褐変し、子実は爪跡が少し残る程度の硬さである(図2)。
- (4) 本試験は、福島県農業総合センター(郡山市日和田町)で実施したものである。

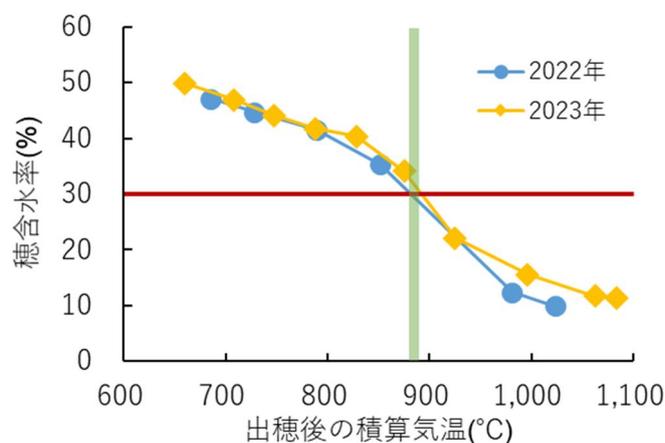


図1 出穂後の積算気温と穂含水率の関係

※穂含水率については、平均的な生育をしている穂を3日程度おきに穂首節で切り取り、80℃で48時間以上通風乾燥させてから算出した。
※播種年次を示す。



図2 収穫適期の穂(左)と子実(右)

※出穂後の積算気温925℃。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 畑作物の安定栽培技術の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) 中園江ら, 気象データによるコムギ子実含水率の簡易推定法, 日作紀, 79(4) p.506-512, 2010.